

群馬の温泉マップ……………10
 この本の使い方……………12
 こらむ① 黄金の湯と白銀の湯……………16

一文字通り

1 伊香保グランドホテル……………18
 2 旅館ふくぜん……………20
 3 ホテル松本楼……………22
 4 洋風旅館ぴのん……………24
 5 ホテル富久住……………26
 6 遊山の里とどろぎ……………28

梨木坂

7 HOTEL天坊……………30
 8 如心の里ひびき野……………32

ちろりん坂

9 お宿かつほ……………34

あづま街道

10 徳田屋旅館……………36

八幡坂

26 ホテル木暮……………70
 27 和心の宿オーモリ……………72
 28 古久家……………74

八千代坂

29 美松館……………76
 こらむ③ 伊香保を愛した文人たち……………78

石段街

30 お宿玉樹……………80
 31 千明仁泉亭……………82
 32 森秋旅館……………84
 33 石坂旅館……………86
 34 青山旅館……………88
 35 丸本館……………90



11 榮泉閣……………38
 12 ホテルニュー伊香保……………40
 13 割烹旅館春日楼……………42

かみなり坂

14 塚越屋七兵衛……………44
 15 香雲館……………46
 16 あかりの宿おかべ……………48
 17 明野屋……………50
 18 さくらい旅館……………52
 こらむ② 伊香保はじめて物語……………54

見晴台

19 市川別館晴観荘……………56
 20 ホテルいかほ銀水……………58
 21 山陽ホテル……………60
 22 一富士ホテル……………62
 23 いかほ秀水園……………64
 24 よろこびの宿しん喜……………66
 25 ホテルきむら……………68

湯元通り

40 大江戸温泉物語伊香保……………100
 41 福一……………102
 42 旅邸諧暢楼……………104
 43 景風流の宿かのうや……………106
 44 橋本ホテル……………108

伊香保旅情……………110
 伊香保温泉宿一覧……………112
 おわりに……………114



創業515年、文豪に愛された

歴史と伝統の宿

◆伊香保温泉

（上州伊香保千明の三階の障子開きて、夕景色を眺むる婦人。年は十八九。品好き丸鬘に結いて、草色の紐つけし小紋縮緬の被布を着たり。）

文豪・徳富蘆花は、明治31（1898）年に初めて伊香保温泉に滞在し、国民新聞に小説「不如帰」の連載を始めた。冒頭の文章でも分かるように、それ以来、蘆花は千明仁泉亭を常宿としていた。

「昭和2（1927）年に亡くなるまで、うちには11回泊まられたと聞いています」と22代目女将の千明佳寿子さん。臨終でさえ、蘆花のたつての希望により千明仁泉亭で迎えている。亭

年60歳。多くの著名人が来湯しているが、伊香保を最も愛した文人であろう。

創業は文亀2（1502）年と伝わる。この年号は連歌師の宗祇が中風の治療のために投宿したという文献によるもので、「実際には、それ以前から営業はしていたということですよ」と女将は笑った。いずれにせよ、伊香保で一番歴史の古い宿であることには違いない。歴史が古いということは、湯

の権利も多く持つているということだ。聞けば、総湯量の3分の1が配湯されているというよって、館内のすべての浴槽が完全かけ流しである。名湯「黄金の湯」源泉が惜しみなく、ザバザバとあふれ流れ出しているさまは、圧巻としか言いようがない。

なかでも極めつけは大浴場の「仁乃湯」。県内でも珍しい深さ1mという「立ち湯」が味わえる。7m×3mという湯舟のサイズは、風呂というよりプールのような。湯量があつてこそそのスケールである。誰もいないときに、つい、泳ぎたくなる広さである。

■源泉名:伊香保温泉 総合湯(混合泉) ■湧出量:4000ℓ/分(自然湧出) ■泉温:41.6℃ ■泉質:カルシウム・ナトリウム一硫酸塩・炭酸水素塩・塩化物温泉 ■効能:神経痛、筋肉痛、関節痛、動脈硬化症、切り傷、やけど、慢性皮膚病ほか ■温泉の利用形態:加水なし、加温なし(貸切風呂は季節により加温あり)、完全放流式

伊香保温泉

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保45
TEL.0279-72-3355 FAX.0279-72-3359
電車:JR上越線、渋川駅からバス(約20分)で「伊香保石段下」下車。徒歩約5分。
車:関越自動車道、渋川伊香保ICより約20分。

■客室:34部屋 ■収容人数:150人 ■内風呂:男2・女2 ■露天風呂:男1・女1 ■貸切風呂:4 ■サウナ:男1・女1 ■宿泊料金:1泊2食 16,000円～(税別)

